

保育学科 2年 前期科目

子ども家庭支援の心理学

2. 乳幼児期から学童前期にかけての 発達

1

授業の進め方

1. 授業の動画を見る…40分
※ 動画と資料はホームページで配信予定
2. 課題とノート作成に取り組む…40分
※ 課題には名前と学生番号忘れずに書く
3. 課題は時間を守りメールで送信
4. 質問はオフィスアワーの時間にメール・
ラインワークス(電話を含む)を使用
5. 課題提出で出欠と成績評価をする

2

乳幼児期から学童期前期

- 乳児期(0～1歳)…大人が基本的生活習慣を整えて育児する。
- 幼児前期(1～3歳)…幼児自身が身体の発達に伴い主体的に行動する。
- 幼児後期(3～6歳)…感覚運動機能や言語が著しく発達する。
- 学童期前期(6～9歳)…学習面と友人関係を中心として社会性が身に付く。

3

乳児期の発達

特徴	時期	用語の説明
クーイング	生後8週(2ヶ月) ～20週(5ヶ月)	クークーという発声
喃語	生後25週 (6ヶ月)	連続音から混合の音に変化 例:「バババ」から「アデュ」に変化
初語	1歳頃	音声の有意味化 例:「まんま」
愛着の形成	6ヶ月頃まで	子どもの言動に特定の大人(主に母親)が応答して情緒的な絆が形成される(アタッチメント)。愛着の対象は「安全基地」となる。

幼児前期の発達

特徴	時期	用語の説明
二語文	1歳8ヶ月頃～	発声が明瞭になり、語彙が著しく増加。 自分の意思や要求を言葉で表出できる。 例:「お母さん くつ」
ごっこ遊び	2歳頃	他者(大人)の行動を模倣し遊びを楽しむ。
ひとり遊び	2～3歳頃	子ども同士のかかわりがなくても、絵や粘土遊びを一緒にしているという感覚をもつ。
第一次反抗期	2～3歳頃	自我が芽生え、強く自己主張する。 例:何に対しても「イヤイヤ」
質問期	3歳頃	話し言葉の基礎ができる、様々な物へ興味関心が高まり、質問が盛んになる。

幼児後期の発達

特徴	時期	用語の説明
多弁期	4～6歳頃	話し言葉がある程度完成する。一時的におしゃべりになる。
自己調整能力	4～6歳頃	自己主張と自己抑制を調整する力 4歳頃:自己抑制ができるようになる。 5歳頃:自己主張と自己抑制が上手く調整できるようになる。 6歳頃:大人に依存しながら、自立心が高まっていく。

乳幼児期の発達の重要性

【母性剥奪】

乳幼児期の人的環境と物的環境は、その後の発達に影響する。その為、母性剥奪により発達遅滞が生じる。

【ホスピタリズム】

施設病ともいう。母性剥奪により施設入所した場合にでてくる情緒の障害や発達の遅れなどの総称。

【発達の臨界期と敏感期】

臨界期…鳥類が孵化後、初めて見た対象に追従行動することを「刷り込み」といい、再学習ができない。孵化後、一定期間過ぎると生じない。

敏感期…人間は母子剥奪があっても、その後の良好な養育環境で発達が回復する。

7

学童期前期(1～3年生)の発達

発達の特徴	用語の説明
社会性の発達	友人関係を中心として社会性が身に付く
知的面の発達	飛躍的に知的発達するが、学習が高度化すると一時的に認知能力が低下し「9歳の壁」にぶつかる。
<p>【9歳の壁】</p> <p>教科内容の高度化により、一時的に認知能力の発達の高低の差が生じて壁ができる。</p>	

8

フィードバック(老人の発達課題)

【認知能力】

認知能力の低下 記憶力と脳機能の低下 視覚の低下 人格の安定性

【身体機能の低下】

歩行

【認知症】

三大認知症(アルツハイマー病・レビー小体型認知症・血管性認知症)

【自動車】

運転免許証の返納 自動車事故 交通ルールを守らない

【社会】

退職・年金 地域社会の希薄化 同世代の人間関係 コンビニの利用

【家族】

孤独 核家族化による高齢者世帯 老人介護 家族関係

【環境】

バリヤフリー 施設入所

9

今日の課題

1. 学生番号
2. 氏名
3. 自身の幼児期から学童期前期の中で、どのような発達課題がありましたか？自身の経験を述べなさい。
4. 3で述べた発達課題について、あなたが保育者になった時、どのように対応しますか？

- ※ 質問と課題提出は17時まで
- ※ 出欠と課題はラインワークスのURLからクリックして送信
- ※ 質問はラインワークス(電話も含む)を使用